

速度と制御のバランスを取り、 サービス調達を再定義する

使用状況、コンプライアンス、セキュリティの
制御を維持しながら、クラウドサービスへの
セルフサービス・アクセスを可能にする



目次

2 利用とクラウドファースト戦略

調査方法

3 セルフサービスへの期待が矛盾をもたらす

クラウドサービスとツールへのアクセスを提供する際の
主な課題

5 ハイブリッド・マルチクラウドの世界で制御を 取り戻すための推奨事項

6 使いやすさのために設計された単一のツールにより、 制御を向上させる

7 キンドリルをおすすめする理由

利用とクラウドファースト戦略

マルチクラウドの採用は、組織が競争上の優位性を維持し、革新を続けるために重要です。クラウドファースト戦略を追求することで、IT組織はワークロードを従来の環境からさまざまなクラウドプロバイダーにシフトする必要があります。これらの新しいハイブリッド・マルチクラウド・インフラストラクチャーは、適切な予防策が講じられていない場合、組織がITリソースの消費に対して持つ制御の量を減らすことができます。この制御の欠如は、コンプライアンス、セキュリティ、および財務の監視に関する不確実性を引き起こす可能性があります。

利用とは、選択したプロバイダーから認定ITサービスを検索、比較、注文、プロビジョニングするプロセス、またはワークロードを構築および管理するための新しいサービスを作成するプロセスを指します。利用を管理することで、組織は従業員が使用するクラウドリソースの種類を一元管理して、一般にシャドーITと呼ばれるベンダーロックインや不正なITシステムの使用におけるよくある問題を回避できます。

今日の業界のリーダーは、ハイブリッド・マルチクラウド環境全体のワークロードを計画、購入、調達する方法を管理するため、俊敏性と制御性のバランスが取れた新しいクラウド運用モデルを必要としています。

調査方法

最近実施されたIBM® Market Development & Insights (MD&I) の調査は、クラウド管理プラットフォームを使用することの潜在的なメリットと同様に、ハイブリッド・マルチクラウドの世界で環境を管理するときに企業が直面する課題へのより深い理解を追求しました。調査した100社の企業とテクノロジーリーダーのうち、40%は経営層、戦略的副社長 (SVP) または副社長 (VP) であり、60%はITディレクター、マネージャー、または管理者です。彼らの回答は、ITリーダーがハイブリッド・マルチクラウドの世界全体に可視性を提供するレジリエントでスケーラブルなソリューションを切望していることを示しています。

セルフサービスへの期待が矛盾をもたらす

オンデマンドの性質と経済のデジタルトランスフォーメーションは、ワークプレイスにも存在する即時の満足感への期待を生み出しました。IT調達プロセスが遅い企業は、Amazon、GrubHub、Netflix、Uberなどの企業が日常の消費者に提供する速度を提供できません。従業員は、IT規則や規制への準拠に関係なく、日常業務を容易にする高速なセルフサービス・ソリューションを期待して探しています。

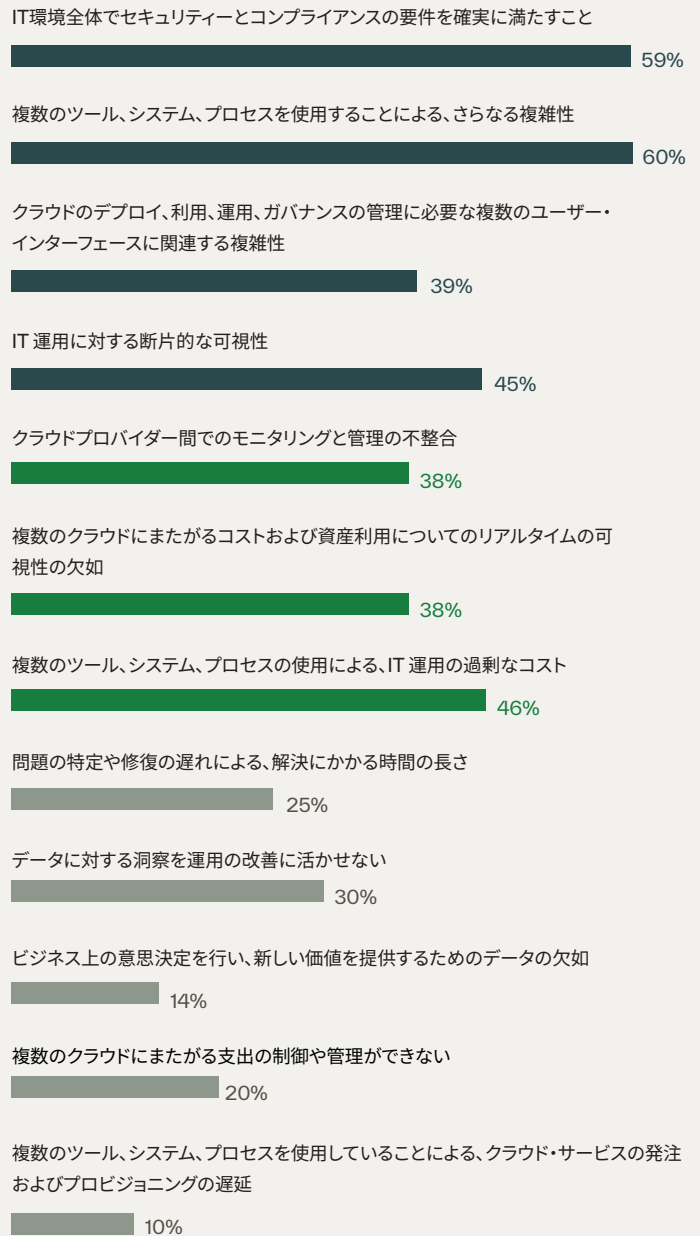
シャドーITの結果として、企業全体で採用されているソリューションの数と多様性によって複雑さが増しているため、企業はリスクにさらされています。企業は、使いやすさに影響を与えることなく、クラウドプラットフォーム全体の可視性と一貫性を提供する、クラウドリソースに対するルールベースの制御を必要としています。MD&Iの調査によると、組織の94%が、単一のアプリケーションを介してすべての主要プロバイダーにわたるクラウドサービスへのアクセスを制御することは、ハイブリッド・マルチクラウド環境を管理する上で重要な機能であると報告しています。

さらに、調査対象の企業およびテクノロジーリーダーのうち、クラウドガバナンスとコンプライアンスを確保するために自社が導入しているツールとプロセスに強い自信を持っているのはわずか15%です。企業は、これらのツールの消費、支出、および管理を監視する方法で、すべてのクラウドプロバイダーにわたってリスクが防止されているという保証を求めています。ITリーダーは、理想的なソリューションは、セルフサービス・クラウドコンピューティングの速度と使いやすさと、財務効率を確保し、シャドーITを削減するために必要な制御と可視性のバランスを取る必要があることを認識しています。

クラウドサービスとツールへのアクセスを提供する際の主な課題

リーダーには、シャドーITを防止し、使いやすさを制限しないIT環境全体でコンプライアンス要件が満たされていることを確認する方法がありません。MD&Iの調査によると、セキュリティとコンプライアンスの違反を監視する必要性は、IT環境全体を管理する組織にとっての上位2つの主要な課題の1つです。組織がハイブリッド・マルチクラウド環境に移行するにつれて、サービスを迅速に提供しながら制御を取り戻すことはより困難になります。ITリーダーは、独自のソリューションを開発したり、制御を維持できないことを打ち消すのに役立つポイント・ソリューションを実装したりできますが、これらのツールは、組織が直面しているより広範な問題に常に対処できるとは限りません。

図1: IT環境全体にわたる管理の主な課題



非準拠のツールの使用によるリスクへの暴露

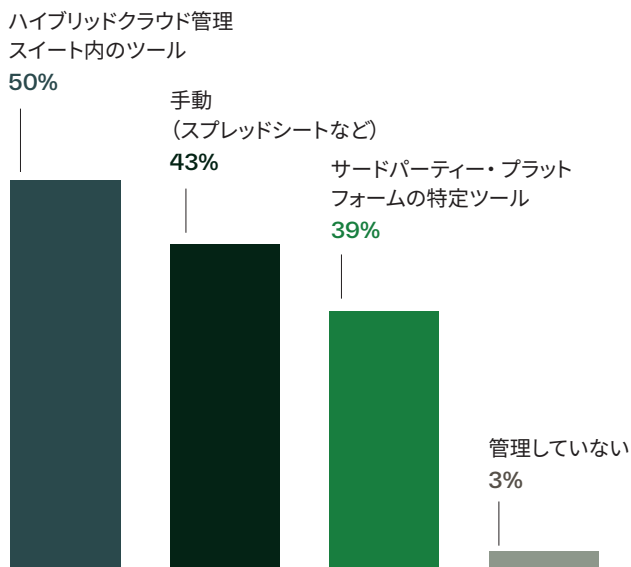
シャドーITがこのように頻繁に使用されると、IT組織はハイブリッド・マルチクラウド資産全体を制御または可視化できなくなり、企業はリスクにさらされます。調査対象のITリーダーのうち、59%が、IT環境全体のセキュリティとコンプライアンスを確保することが主要な課題であると述べています。一般データ保護規則 (GDPR) などの法律は、組織がシステム間でデータのセキュリティを維持できない場合にのみ、組織のリスクを高めています。

ルールベースの洞察など、使用を追跡するためのより自動化を実装しているにもかかわらず、調査対象のリーダーの20%未満が、クラウドを効果的に監視および管理していることに強く同意しています。ハイブリッド・マルチクラウドの世界で機能するリーダーは、調達速度に影響を与えることなく、組織全体で採用されているさまざまなワークロードにおける利用、セキュリティ、コンプライアンスの制御を取り戻す必要があります。

複数のツール、システム、プロセスを使用することによる、さらなる複雑性

企業は、さまざまなクラウドプロバイダー全体の可視性を向上させることで改善が見込める非効率性を経験する可能性があります。これらの非効率性により、ITの運用速度が低下します。調査対象のITプロフェッショナルのうち、60%が、主な課題は複数のツール、システム、およびプロセスの使用であり、これにより過剰な運用コストが発生する可能性があるとして述べています。ハイブリッドクラウド管理スイート内のツール、手動スプレッドシート、およびサードパーティ固有のプラットフォームは、ITリーダーが自社のクラウドの使用を理解するために採用するアプローチの一部です。効果的な戦略なしにクラウドの使用を非効率的に管理すると、組織のニーズを満たす能力が制限され、従業員が不正な代替手段を探す可能性があります。複数のツール、システム、およびプロセスの使用によるクラウドサービスの注文とプロビジョニングの遅延は、調査対象のリーダーの組織の10%に影響を及ぼします。

図2: 企業によるクラウド利用の管理方法

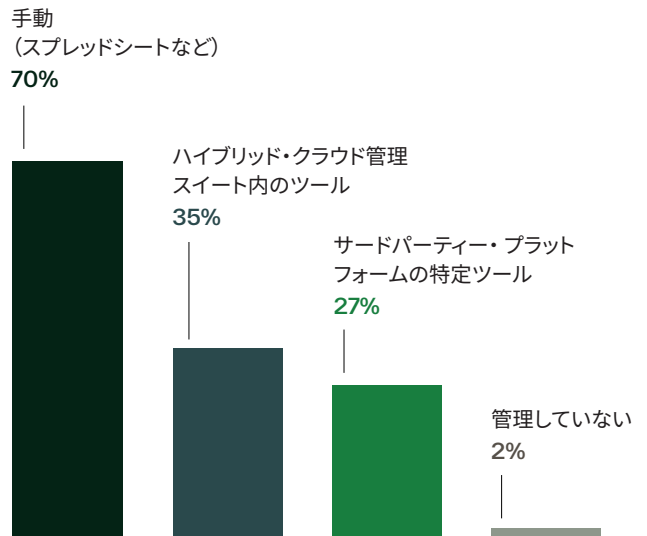


クラウドのデプロイ、利用、運用、ガバナンスの管理に必要な複数のユーザー・インターフェースに関連する複雑性

クラウドの展開、利用、運用、ガバナンスを管理するために必要な複数のユーザー・インターフェースに関連する複雑さの増加は、調査回答者の39%にとって主要な課題です。複雑さは、従業員によってプロビジョニングされたさまざまな準拠および非準拠のリソースの結果です。調査したITリーダーのわずか5%が、クラウドの支出を効果的に監視および管理できることに強く同意しています。調査対象のITリーダーのほとんどは、手動でコストを追跡しています。ただし、ハイブリッドクラウド管理スイート内のツールまたはサードパーティのプラットフォーム固有のツールを使用しているものもあります。

組織のクラウドコストを管理できないと、過剰な支出が発生し、ビジネスユニット間で一貫性が失われる可能性があります。不要な承認済みツールやシャドーITへの従業員の支出を管理できないため、企業は数十万ドルを費やす可能性があります。MD&Iの調査によると、ITリーダーの38%が、クラウドプロバイダー全体で一貫性のない監視と管理を主要な課題と考えています。多くのITリーダーは、さまざまなアプローチの使用を回避するために、システム全体で人材を積極的にトレーニングしようとしています。単一のインターフェースを利用すると、企業のチームメンバーは複数のプロバイダー間で消費トレーニングを実施する必要がなくなり、新しいチームメンバーの

図3: 企業によるクラウド費用の管理方法



オンボーディングの難しさを軽減できます。この変更により、チームのさまざまなクラウド・アカウントで現在のチームメンバーを再トレーニングする必要がなくなり、必要な資格情報の数を最小限に抑えることができます。単一のインターフェースは、チームがサービスを調達するために必要な速度に影響を与えず、コストを管理および制御するのに役立ちます。

ハイブリッド・マルチクラウドの世界で制御を取り戻すための推奨事項

企業は、IT部門が必要とする制御のバランスを取りながら、ユーザーが必要とする速度でサービスやツールにアクセス可能にするマルチクラウド管理への明確な手順を必要としています。この目標を達成するため、準拠したツールやサービスへの高セキュリティなアクセスを提供することにより、リスクの最小化、事前承認されたツールおよびサービスへのアクセスの標準化、複数のツール、システム、プロセスの利用による複雑性の排除を行う必要があります。



準拠したツールとサービスへのセキュリティが豊富なアクセスを提供することにより、リスクを最小限に抑えます



事前に承認されたツールとサービスへのアクセスを標準化する



複数のツールシステムとプロセスを使用することによる複雑さの軽減

準拠したツールとサービスへのセキュリティが豊富なアクセスを提供することにより、リスクを最小限に抑えます

ITリーダーに単一の内部市場で構成標準をキュレートおよび定義させる機能は、ユーザーがどのサービスツールをすぐに利用できるかを理解するのに役立ちます。同時に、未承認のツールの調達を最小限に抑えるには、使用が承認されているリソースをユーザーに教えることも重要です。さまざまなビジネスユニットが独自の方法でクラウドを使用すると、IT部門は制御を失います。高速アクセスと制御のバランスをとるまとものあるソリューションにより、ITリーダーはセキュリティが豊富で適切に準拠した構成をキュレートできます。

ユーザーが事前にプロビジョニングされたセルフサービス・マーケットプレイスにアクセスすると、すべての機能構成が承認されていることがわかります。このプロセスにより、チームが外部ソースを探してシャドーITに従事する可能性が低くなります。不正な構成によって、企業が危険にさらされる可能性のあるセキュリティ違反が発生することはなくなりました。技術的な検証を行うことで、すべてのワークロードが稼働中であり、準拠しており、セキュリティが豊富であることを知ることができます。

事前に承認されたツールとサービスへのアクセスを標準化する

調査回答者の94%が、単一のアプリケーションを介してすべての主要プロバイダーにわたるクラウドサービスへのアクセスを制御することは、ハイブリッド・マルチクラウド環境を管理する上で重要な機能であると報告しています。この機能により、ITアーキテクトは、Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、Google Cloud、IBM Cloud™、VMwareなどのクラウドプロバイダーから承認されたサービスを既知の市場で公開できます。複数のクラウドプロバイダーのツールとサービスを単一のインターフェースに集約することで、ユーザーは、異なるプロバイダーのダッシュボード間で複数のログインを追跡する代わりに、必要なサービスにすばやくアクセスできます。

承認されたすべてのツールを1つの体験内に収容することで、チームは一貫性のある選択のメリットを得ることができます。調査対象のリーダーのうち、45%は、従来のデータセンターとマルチクラウド環境全体でITを一貫して管理できるため、クラウド管理プラットフォームを使用することでメリットが得られると期待しています。ビジネスユニット全体で、ユーザーはさまざまなクラウドプロバイダーをすばやく利用し、ベンダーロックインを回避できます。企業のチームメンバーが特定のメリットのために適切なクラウドリソースを適用する必要がある移植性と柔軟性を有効にすることで、組織は生産性を高め、制御を維持し、シャドーITの使用の発生を減らすことができます。

複数のツール、システム、プロセスを使用することによる、さらなる複雑性クラウドと従来のITサービス管理の注文追跡および承認ワークフローを単一のビューに統合することにより、企業は内部で使用されているツールとサービスについてより明確な洞察を得ることができます。MD&I調査では、ITリーダーの88%が、ハイブリッド・マルチクラウド環境を管理する際にこの統合が重要な機能であると述べています。単一の管理体験を使用して、利用を確認し、ビジネスユニットごとの予算をより適切に順守し、承認サイクルを通じて複雑さを最小限に抑えることができます。

ユーザーがサービスを調達する必要があるときはいつでも、各個人のリクエストは、技術的および財政的承認サイクルに受けるように構成する必要があります。驚いたことに、調査対象企業のわずか24%がルールベースの洞察を使用してクラウドのコストと使用を管理することの価値を認識しています。財務承認者は、定義された予算単位から選択し、注文に対する予算の順守を追跡し、元の予算ステータスを確認し、各要求を評価するときに拒否の理由を提供する機能を必要とします。

承認サイクルは、コストの見積もり、注文、サービスの提供を行う単一の統合プロセスを通じて、調達のベストプラクティスを明確に確立します。このプロセスにより、ユーザーは承認サイクルのどこにいるかを追跡し、承認者のフィードバックから学習することができます。これにより、サービスの調達の複雑さが軽減されます。

使いやすさのために設計された単一のツールは、制御を向上させることができます

企業のセルフサービス・マーケットプレイスを作成すると、ITリーダーは、さまざまなプロバイダーからの事前承認済みサービスへのアクセスをユーザーに即座に提供しながら、調達が適切な承認を通過することを保証することにより、制御を取り戻すことができます。MD&Iの調査によると、企業の86%が、今後2年間で使用するクラウドプロバイダーの数を維持または増加することを期待しているため、このプロセスを今確立することは特に重要です。制御を維持するには、企業は、準拠するツールとサービスへのセキュリティに富んだアクセスを提供することでリスクを最小限に抑え、事前に承認されたツールとサービスへのアクセスを標準化し、複数のツール、システム、およびプロセスによる複雑さを減らす統合されたマルチクラウド管理が必要です。

企業のセルフサービス・マーケットプレイスを作成すると、ITリーダーは、さまざまなプロバイダーからの事前承認済みサービスへのアクセスをユーザーに即座に提供しながら、調達が適切な承認を通過することを保証することにより、制御を取り戻すことができます。

キンドリルをお勧めする理由

クラウドを使用したデジタル変革の加速は、技術革新を求めて企業が注力する主要領域です。ほとんどの組織は、将来のクラウド環境は、ハイブリッドとマルチクラウドの両方だと考えています。ハイブリッド型のアプローチでは、お客様はプライベート、専用、およびパブリックの各クラウドインフラストラクチャーをまたがってアプリケーションを実行します。マルチクラウド型のアプローチでは、お客様は複数のクラウドプロバイダーを使用して幅広い企業、ワークロードをサポートします。

ハイブリッド・マルチクラウド IT 環境の管理についてのキンドリルの視点は、一貫して Kubernetes とコンテナベースのテクノロジーを使用してお客様に選択肢を提供するという戦略に基づいています。顧客側では、Red Hat を使用した、アプリケーションの携帯性に対する標準のコンテナベースのアプローチがサポートされることで、ベンダーの囲い込みを防止できます。また、顧客側では、消費や DevOps、運用、ガバナンス回りで必要な領域に重点の置かれたコンソールを使用して、セルフサービス型のプラットフォームにアクセスできます。

この戦略により、事実上どのようなパブリック・クラウド・フットプリント上でも、Kubernetes ベースのホステッド環境であればどこでもサポートされることで、マルチクラウド・モデルが可能になります。このサービスとソリューションにより、キンドリルは、お客様がジャーニーのどの地点にしようとも、お客様のデジタル変革を加速し、クラウド変革、リスクの最小化、および既存投資の活用を通して、ビジネス価値を提供できます。

複数のクラウドと現在のデータセンターにまたがるワークロードの管理を支援するキンドリルの統合マルチクラウド管理プラットフォーム (MCMP) を使用することで、お客様は以下のことが可能になります。

- すべてのクラウドおよびデータセンターにまたがる、デジタルのセルフサービス型ユーザー体験による利用、デプロイ、運用、およびガバナンス
- 最新のテクノロジー、自動化、およびセルフサービスを通じた俊敏性およびスピード
- 統合ガバナンスおよび管理を通じたリスクの軽減
- クラウドと自動化の活用によるコストの低減
- 従来型の Information Technology Infrastructure Library (ITIL) から、サイト信頼性エンジニア、および DevOps 主導のクラウドネイティブ・アプローチに至るまでの、資産全体の可視化とアクセス制御

組織によるマルチクラウド環境の管理を支援するという方法は、ハイブリッド・マルチクラウド環境全体にわたる可視性、ガバナンス、および自動化を提供する管理能力をもたらすためのものです。こうした能力としては、マルチクラスター管理、イベント管理、アプリケーション管理、インフラストラクチャー管理などに加えて、既存のツールやプロセスとの統合が挙げられます。

詳細情報

キンドリルは、世界が日々依存している最新の効率的で信頼性の高いテクノロジー・インフラストラクチャーの設計、実行、および管理に関する深い専門知識を有しています。私たちは、人類の進歩を支える重要なインフラストラクチャーを前進させることに深くコミットしています。私たちは、新しい方法でシステムを作成することで優れた基盤を構築しています。適切なパートナーを獲得し、ビジネスに投資し、お客様と協力して新たな可能性を引き出します。

キンドリルのマルチクラウド・マネジメント・プラットフォームが、お客様のハイブリッド IT 環境をどのように簡素化できるかについては、キンドリルの担当者にご連絡いただくか、kyndryl.comをご覧ください



© Copyright Kyndryl Inc. 2021

Kyndryl は、米国もしくはその他の国における Kyndryl Inc. の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ Kyndryl Inc. または他社の商標である場合があります。本資料は発行時点で最新のものであり、キンドリルが随時予告なしに変更する可能性があります。キンドリルが事業展開するすべての国で、全製品もしくはサービスが利用できるわけではありません。キンドリルの製品およびサービスは、提供されている契約書の条件および制約に基づき保証されます。記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。キンドリルの製品およびサービスは、提供されている契約書の条件および制約に基づき保証されます。